

全国大会に出場した中学生4人が結果を報告 ほか



写真左から浪岡くん、木綿くん、村瀬くん、古川さん

**全国大会で大健闘！
4人が結果を報告**

全国大会に出場した中学生4人が2月28日、町長室を訪れ、結果を報告しました。

2月3日～6日に秋田県で行われた全国中学校スケート大会ではスピードスケートに古川幸希さん（新得中3年）と浪岡大裕くん（屈足中1年）が出場。古川さんは5百メートルで大会新記録をマークし、2連覇。千代では準優勝でした。浪岡くんは、自己ベストを記録し、5百メートルで予選51位、千代で予選61位と健闘しました。

2月8日～11日に秋田県で行われた全国中学校スキー大会ではアルペンスキーに村瀬大我くん（屈足中3年）、クロスカントリスキーに木綿啓太くん（屈足中3年）が出場。村瀬くんは大会で49位、木綿くんはフリー5種で61位と健闘しました。



写真左から浜田町長、平さん、大谷さん

世界選手権で初のメダルを獲得

バンディ日本代表の2人がバンディ日本代表として1月29日～2月3日に中国で行われた世界選手権に出場した平一真さん（ひら農園）と大谷賢司さん（新得町農業協同組合）が2月9日、浜田正利町長に結果を報告しました。

世界選手権では予選を2勝1敗とし、決勝トーナメントでスコパキアに4対1、中国に2対1で勝利し、決勝へ。決勝はオランダに惜しくも2対3で敗れましたが、日本は7回目の挑戦で初のメダルとなる銀メダルを獲得しました。

大谷さんは「チームとして、来年は優勝し、Aリーグへ昇格を目指す」と意気込みを語りました。



目指せ！ベストタイム

平成29年度新得町民スピードスケート大会が2月1日、町営スケートリンクで開催され、幼児から大人まで48人が出場し、ベストタイムを目指して力強い滑りを見せました。

表彰者は次のとおりです（総合1位のみ・敬称略）

【男子】◇幼児Ⅱ湯浅辰教 ◇1年Ⅱ湯浅雷希 ◇2年Ⅱ湯浅導大 ◇3年Ⅱ佐々木悠稀 ◇4年Ⅱ齊藤涼太 ◇6年Ⅱ鳥井洗洋

【女子】◇幼児Ⅱ桶屋凜華 ◇1年Ⅱ中村結紀 ◇2年Ⅱ林華永 ◇3年Ⅱ清野紗和 ◇4年Ⅱ西川未桜 ◇5年Ⅱ湯浅南美 ◇6年Ⅱ湯浅にれ



第29回町民スキー大会（新得スキー連盟主催）が2月25日、新得山スキー場で開催され、幼児から高齢者まで129人が参加しました。結果は次のとおり。（競技区別1位のみ掲載）

【男子スキー】◇幼児Ⅱ森拓真 ◇小学1・2年Ⅱ枋木奏 ◇小学3・4年Ⅱ谷口淳基 ◇小学5・6年Ⅱ渡辺陸玖 中学・高校Ⅱ渡辺海翔 ◇一般男子DⅡ松坂富夫 ◇一般男子CⅡ水口拓也 ◇一般男子AⅡ金子大

【女子スキー】◇幼児Ⅱ永松伊吹 ◇小学1・2年Ⅱ堀田杏音 ◇小学3・4年Ⅱ金子結紀 ◇小学5・6年Ⅱ長谷川生 ◇中学・高校Ⅱ沼山優

【スノーボード】◇小学4年以下Ⅱ鈴木南美 ◇小学5・6年Ⅱ大内理瑚 ◇中学生以上Ⅱ鳥羽みず、

地域共生型ハウス「たんぼぼ」がオープン、公開講座・ふれあい支援員現任研修 ほか



時計を送った阿部会長（写真右）と齊藤シニアマネージャー（写真中央）

誰でも利用でき、交流できる施設へ

地域共生型ハウス「たんぼぼ」がオープン

社会福祉法人厚生協会（鈴木政輝理事長）が運営する地域共生型ハウス「たんぼぼ」が2月5日にオープンしました。同施設がある新生の2町内会の阿部靖博会長からは壁掛け時計が寄贈されました。この施設は、日帰りサービセンター、共生型サロン、近隣町内会への部屋の貸し出しと3つの役割を担います。オープン初日には、地域の高齢者や小学生25人が利用し、交流を行いました。

厚生協会の齊藤久恵シニアマネージャーは「高齢者、小学生、ろっあ者など誰でも利用でき、交流できる場になってほしい」と期待を込めました。



講演を行った木村さん（写真右）

聴くことの意味・大切さを学ぶ

公開講座・ふれあい支援員現任研修

公開講座・ふれあい支援員現任研修が2月19日、町保健福祉センターなごみで行われ、ふれあい支援員ら約30人が参加しました。

ふれあい支援員は平成21年活動を開始し、現在は9人が活動を行い、高齢者及び障がい者等のもとを訪れ、傾聴、趣味活動などを一緒に行っています。

講師として、北海道「傾聴塾」指導者の木村睦子さんを迎え、「コミュニケーションと傾聴」を題材に傾聴の意味、良い聴き手になる方法などを学びました。

木村さんは「傾聴はその人の苦しみや和らげ、軽くし、無くすこと。ぜひ誰かの話を聞いてほしい」と話しました。



子どもを不審者から守る訓練

新得保育所不審者対応訓練

不審者対応訓練が2月16日、新得保育所で行われ、新得警察署の井元健二係長の指導で職員への対応の仕方を受けました。

今回の訓練は、「子どもに会いたい」といつ不審者が来たという想定で行われ、所長が玄関で対応し、別室へ誘導。男性職員が不審者を取り押さえました。

その後、井元係長から園児へ不審者と会った時は「いかにおすし（付いて行かない・車に乗らない・大声で叫ぶ・すぐ逃げる・大人に知らせる）」を守ってください」と注意がありました。また、園児は自分の「助けて」の声の大きさをマイクで計る体験も行いました。



鉄道の未来を守ろう

JR根室本線の災害復旧と存続を考える会

「JR根室本線の災害復旧と存続を考える会」が2月27日、町公民館視聴覚室で開かれ、町民ほか南富良野町、帯広市などから42人が参加しました。

会の呼びかけ人として、平良則さんが「路線が廃止となれば、ますます地域が衰退する。なんとかして残していきたい」とあいさつ。町議会の菊地康雄議長と廣山輝男議員が国や道、道議会に対する要請などについて報告。意見交換では、「国が責任を持つべき」との声が相次いで起こりました。

今後は「考える会」を「求める会」に発展させ、更なる住民運動を展開していく方針が確認されました。